

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 27年 3月23日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ カイセイウサイジツコウインカイ
 団体名 開成防災実行委員会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	開成防災実行委員
事業実施区域(小学校区)	開成小学校(体育館及びグラウンド) 開成学区避難指定施設及び企業
事業実施回数	新規 ○継続 2回目(26年度から)
事業の目的	※解決をはかりたい地域課題等について記載してください。 開成学区は干拓地域で、海拔1m以下で洪水、高潮また地震による津波、液状化現象が懸念される現状化において、学区民個々の安全を守り(自助)近所同志が助け合い、安否確認をして(共助)安全に避難できる体制づくりを作る。 また想定外の時、連絡、救護本部体制づくりの確立。 また工業団地(企業)との連携を取り災害時の体制づくりを確立する。
事業の必要性	「30年以内に震度6弱程度の地震が発生する」また液状化により「児島湾堤防の70%が破壊される恐れがある」と言われています。(理大、教授) 以上の事から地区民が安全かつ円滑に避難する為には、一人一人が防災意識(減災)を向上させて自助・共助の精神を高め安全に避難する必要があります。 「区づくり推進事業」を活用して多様な機会を利用して、様々な防災(減災)意識対策や非常食、避難食を紹介し2～3日の食料確保の必要性をPRする。 体験型避難訓練を単位町内会自主防災組織単位で取り組み防災意識(減災意識)のレベル向上を図る、又日常の活動を通じて学区民間の絆を作ることが必要です

事業の内容	① 安心・安全ネットと共催で防災イベントの実施 簡易タンカ作り、非常食づくり、防災クイズ等 ② 単位町内自主防災組織で視察研修や体験型避難訓練の実施 町内で市協定避難力所に個々の連絡を取って安全に避難する訓練 ③ 地域サロンによる高齢者向け、女性向け防災訓練の実施 ④ 災害時想定避難訓練に地域企業の参加を募り町内と合同訓練実施
期待される成果	1、防災意識や減災意識のレベルアップ 2、学区民と地域企業との意志疎通 3、学区民の連帯感向上及び共助精神の浸透 4、避難訓練参加により地域住民間の絆が生まれる。
企画などの工夫	安全・安心ネットワーク内の各種団体組織との連携を密にし、各行事の企画の段階から協議イベント開催の援助などをするとともに、防災関係のPRを実施する。 ・単位町内で自主防災組織別に体験避難訓練の実施。 ・体育祭の機会を活用して防災イベントを競技に取り入れる。 (楽しみながら防災減災活動に取り組む) ・地域女性（地域サロン）の活用により高齢者対策をする。
事業の情報公開	1、開成学区連合町内会⇒単位町内会より学区民に回覧PRする。 2、安心・安全ネットワークより各単位部長へPRする。 3、地域企業に開成振興事業よりPRする。 4、地域サロン（女性、高齢者）の活用しPRする。 5、上南だより（公民館たより）に防災欄をつくりPRする。
次年度以降の予定	27年度の総会を28年2月に変更して27年度事業を終わる 28年度事業を28年2月総会終了より開始し28年3月申請する体制づくり。 28年度以降の事業も継続するシステムをつくる。
その他PRしたい点	※小学校区より小規模（単位町内会等）で実施の場合は、広がりについても記入してください。 1、自主防災を地域で継続的に維持する立案 2、開成学区民と23町内会自主防災組織が連携し、共助意識の向上を図る。 3、町内単位での危険力所のチェック改善と避難方法、場所の周知徹底を図り弱者要支援護者、介護者の把握に務める。

事業スケジュール

			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議				企画		企画						
準備・会議					会議		会議					
事業執行						事業		事業 事業				
反省会									反省			
監査 報告会										報告	総会	
次年度 企画会議											次年度 計画	申請 作成